

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

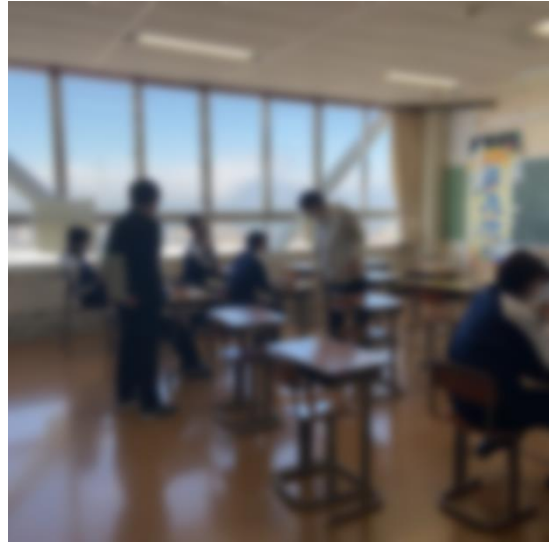
中高を通して見守るキャリア教育

中高一貫教育推進委員長(北海道えりも高等学校長)
佐藤 健

高等学校の新学習指導要領が令和4年度から年次進行していくことを踏まえ、各高校はスクールミッション(使命)を作成し、それを元に教育課程を進めていくこととなります。えりも高校としては下記のように策定しました。

中高一貫教育では校種間で生徒の発達を見守り、それを引き継いで、更に発展させるキャリア教育が可能です。そのためどのような力をつけるか、方向性を理解し合う必要があります。スクールミッションはその意味で、えりもの教育の最終形として大きな指標となるはずです。

限られた時間の中では、生徒の心に刺激を与える教育活動が重要です。探究活動は変化の激しい社会の中でとりわけ大切と考え、今後も中高で連携・推進していきます。



(中高乗り入れ授業(数学) ↑)

<北海道えりも高等学校スクールミッション>

(1) 社会に貢献する人材の育成

郷土を理解し愛する精神を養い、基幹産業(漁業、観光)等の活性化に貢献する人を育てる。

(2) 豊かな広い心と深い知性を育む全人教育

よりよい社会の形成者となるべく、夢をもちたくましく生き抜く人間の育成を図る。

(3) 社会の変化に主体的に対応する資質・能力の育成

グローバル社会、Society5.0等、変化の激しい社会に適切に対応できる基礎能力を培う。

(4) 社会の中での生き方、在り方について自覚をもつ人間の育成

小中高連携や地域学校を基盤とした地域の教育力・教育資源を活用し、キャリア発達を促す。

学力向上に向けた各教科の取組

えりも中学校とえりも高校間で行われている中高一貫教育推進事業では、「えりもの子」達の学力向上を軸として、学校間の授業交流を柱とする種々の取組を行っております。今年度はコロナ禍で実施が心配された面もありましたが、各教科で中学校と高校の教員間での連携を深め、様々な取組を行いました。紙面の都合で一部とはなりますが、各教科部会での取組の概要を紹介いたします。

<p>【国語部会】中学から高校までの6年間、同一テキストを用いて、読み書きの基礎である漢字の系統的な指導を行っています。また、今年度も高校教員が中学3年生を対象に高校入試対策として現代文分野の授業を行いました。</p>	<p>【社会科・地歴公民科部会】 高校教員の中学校への乗り入れ授業を行いました。生徒は、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の各分野から選択して中学校の学習の振り返りを行うことができました。</p>
<p>【数学部会】兼務発令で高校教員が中学3年生の授業を担当しました。また、乗り入れ授業では、中高数学科教諭全員で中学3年生に対し、進路・学力に応じて4展開の授業を行いました。えりも高校進学者の学力状況を早期に知ることができ、入学後の授業方法等をより生徒の能力に応じたものになりました。</p>	<p>【理科部会】 小テストの実施や考査結果の分析など教員同士の情報共有に力を入れています。今年度は、新型コロナウイルスによる休校の影響により、予定していた乗り入れ授業が中止になりました。</p>
<p>【英語部会】今年度は、中高合同での英検実施や、高校教員が中3生に対し、英検2次試験対策の指導を行いました。分からなくても何か英語で伝えようとしている姿が印象的でした。次年度も引き続き、英検合格をサポートできるよう、指導していきたいと思えます。</p>	<p>【保健体育部会】中学1年生から高校3年生まで体力テストを実施し、結果を分析し、体力向上への意識を高めることができました。また、中学3年生が高校に来て、中高生合同の体育授業(ソフトボールとサッカー)を実施し、高校3年生が中心となって指導・学習する活動を展開することができました。教え学び合う活動は、中高生ともに得るものが大きく、生徒一人ひとりの成長感じられました。</p>

英検・漢検・数検の取り組みについて

各種検定につきましては、町から検定補助制度のご支援をいただき、生徒が積極的に検定にチャレンジしています。その中でも、特に漢字検定、英語検定では難度の高い2級の合格者を複数名出すなど、着実に成果を上げています。大学入試の制度が変わり、検定の取得は将来の進路決定の上で重要な要素となっています。各担当の総括は以下の通りです。

【漢字検定】

今年度も多くの生徒が検定取得に挑戦し、昨年を上回る6名が2級を取得しました。漢字は一度見ただけでは絶対に覚えられません。何度も繰り返し努力し、検定取得に挑戦しましょう。

【英語検定】

今年度も2級では高3生2名、高2生1名、準2級では高校生延べ8名など、昨年度並みの合格者数でした。リスニング・リーディング・ライティングの各分野で万遍なく得点することが合格への第一歩です。二次試験のスピーキングの合格率が昨年度よりも上がりました。添削指導等を通して、実力をつけて、ぜひ上級に挑戦してください。

【数学検定】

今年度の受検者は中学1名、高校2名と少数でした。結果は1次ないし2次のみ合格となりました。次年度、最終合格を目指して欲しいと思います。近年、大学や専門学校等を目指す際、検定取得が有利になることが増えてきています。早い学年の段階から数学検定にも積極的にチャレンジしてください。

中高一貫6年間の成果

えりも高校進路指導部長 山上智史

今年度卒業した生徒の進路概況は下記の表のとおりです。今年度は、推薦試験及び一般入試で国公立大学に4名が合格しました。ほとんどの生徒が、学校推薦型選抜(旧推薦入試)や総合型選抜(旧AO入試)を利用して受験しました。志望先に合格した生徒のほとんどは、各種検定の上位級取得に励むほか、面接練習や志望理由書の作成、小論文を書く練習を何度も行い、本番の試験に臨んでいました。さらに、国公立大学に一般受験でチャレンジする生徒は、共通テスト受験後も2次試験に向けてしっかりと対策をしていました。自分に合った進学先を決めるためには、低学年の内からオープンキャンパスや進学相談会などに積極的に参加し、学部・学科研究することが重要です。さらに、今年度から大学入試の内容が変更になり、受験生にプレゼンテーションや口頭試問を課す大学もありました。そのためには、探究活動などを通して、大学で学びたい分野の知識を深めておくことも重要です。就職希望の生徒は、コロナ禍で就職活動が厳しい状況でありましたが、限られた時間と環境の中で企業研究をする他に、履歴書の作成や面接練習にたくさん時間を割き、全員が志望する企業から内定を得ることができました。

国公立大学	私立大学	私立短大	専門学校	各種学校	民間就職	その他	合計
4名	6名	1名	10名	1名	14名	1名	37名

(令和3年3月1日現在)

合格体験記《今年も三年生は第一希望に数多く合格できました!》

大学(札幌市立大学 合格)

検定・資格は沢山挑戦してください。部活動・行事・課外活動など様々な経験を積むことで実際に試験でも力になりました。後悔しないように、簡単ではないと思いますが「どれも全力で」頑張ってください。

大学(天使大学 合格)

地方であるえりも高校では、予備校に通いづらいことや、進学組が少ないことなど受験生にとって辛いことはたくさんあります。でも、それ以上に先生方が一人一人の受験に熱心になってくれて、数少ない仲間と一緒に頑張ることができます。自分が思いきり勉強できる環境に感謝して頑張ってください。

専門学校(経専北海道保育専門学校 合格)

高校生活で頑張ったことは、仲間を大切にすることです。私は中学校の時、とてもおとなしい子でした。将来的にこれではだめだと思い、高校ではたくさんの人と自分から積極的に会話を楽しみつつ、仲間を大切にしてきました。今のうち(高校にいるうち)にたくさんの人と会話し、その子を大切にしたいと思っています。

民間就職(日高信用金庫 内定)

進路活動が終わった瞬間の達成感は、テスト期間終了後と比べものにならないぐらいありました。やるべきことをしっかりやって、自分の将来を良いものにしていってください。